

広報なみえ

今月の表紙

震災前の請戸海岸 (2007年8月12日撮影)

- 2 深掘り！地域おこし協力隊
- 3 町長インタビュー 就任3年を振り返って
- 4 教育長就任のごあいさつ／第15回こどもの笑顔フォトコンテスト募集
- 5 保健だより
- 6 まちのミユース
- 8 みんなの鳥獣対策
- 10 まちのわだい
- 13 まちからのお知らせ
- 28 ゆるバス2025／出張！撮れたて写真館

深掘り! 地域おこし協力隊

町の地域おこし協力隊に新たに加わった2人をご紹介します。

浪江―東京をつなぐ架け橋に

杉山さんは東京都出身の25歳。町の地域おこし協力隊のパートナー企業である、南相馬市小高区の酒蔵「haccoba」浪江醸造所で活動しています。

「生まれて初めて東京を出ることに不安もあったけど、移住者の多い浪江なら、地方に全くルーツのない私でも受け入れてもらえるかなと思いました」
元々、都内のコンサルティング会社に勤めていましたが、リモートワークが多く、一人で仕事をする環境は孤独と隣り合わせ。「心を開いて人間関係を築

ける仕事がしたい」と転職を考えるようになりました。

そんなある日見つけた、浪江町の協力隊募集。かねてからハッコウバのお酒のファンで、浪江醸造所や道の駅なみえを度々訪れていたこともあり、一念発起しました。今年4月浪江に移住し、5月から協力隊としての活動をスタートしたのです。

「浪江の人たちは、地域おこし協力隊じゃないのに地域を盛り上げようという人がたくさんいて驚きました。また、飲食店にいと知り合いに次々に会えるのも凄い。東京では考えられないです」とこれまでの日々を振り返ります。

ハッコウバでは広報業務などを担っていますが、あくまで活動の場の一つ。協力隊員として自分に何ができるか、日々模索しています。

「私にとっての地域おこしとは、東京の人がいかに地方とつながる機会を増やしていくか、です。ハッコウバのファンがきっかけとなって浪江に来た私のように、浪江を東京にもっと広めたい」

浪江と東京をつなぐ架け橋に――杉山さんの挑戦は始まったばかりです。



杉山 遥香さん
令和7年4月着任



宇田川 雄さん
令和7年2月着任

子供向けの防災ツリーズ普及を目指す宇田川さんは埼玉県の元小学校教員です。今年2月浪江に移住し、ツアープログラム実施に向けた準備を進めています。

教員時代から、震災教育がライフワークでした。きっかけは東日本大震災から半年後、宮城県石巻市でのボランティア活動です。泥に浸かった家財道具を片付ける作業などに従事し、現地での経験や写真を道徳の授業の教材にしました。学校を異動しても教材を作り続け、毎年3月11日には、その日の新聞報道を校内の掲示板に貼り出すことも忘れませんでした。「教師として震災を風化させてはならない」と語っています。

教員生活20年 防災ツアー目指して

「い」という責任感があったといいます。

浪江を初めて訪れたのは2020年。それまで訪れたことのある宮城、岩手とは違い、復興が進まない状況に衝撃を受けました。「遠い場所で震災を忘れないでと訴えても、大人も子供も記憶は薄れていく。直接被災地に来てもらうために、教員を辞めてでも取り組みたい」。教員生活がすでに20年となる中、大きな決断を下しました。

移住して半年ほど経った現在は、旅行業や防災士の資格取得に向け勉強を重ねています。将来的には、宿泊学習など、学校のプログラムとして、福島県をはじめ埼玉県の学校も誘致したいと考えています。

「大人はもちろん、できれば子供たちの真つすぐな目で被災地を見てもらいたい。その子供たちが10年、20年経って、少しでも浜通りに住むことに繋がれば」と語っています。

SNSで発信中!

宇田川さんは浪江町の魅力を自身のSNSで発信中です。ぜひ左のQRコードからご覧ください。





「復興加速に向けた協議会」で、復興副大臣に要望を伝える吉田町長（4月14日）

吉田栄光町長インタビュー

就任3年を振り返って

■就任4年目を迎えて

——町長就任から早くも3年の月日が経ちました。本当にあっという間です。第2期復興・創生期間もいよいよ最終年度を迎え、次のステージに向けた非常に重要な節目を迎えています。震災から15年、そして次の5年間は、当町を含む被災地の今後の大きな方向性を示す時期となります。まさに正念場であり、「多くの町民が今も町外で暮らしている」ということを忘れてはならないと思っています。町長として一層身の引き締まる思いです。

■印象に残っていることは

——昨年10月に、町の復興の大きな柱である浪江駅周辺整備事業の造成工事が始まり、今年4月には福島国際研究教育機構（FIRE）の起工式が執り行われました。一次産業関連や再生可能エネルギーなどの様々な分野においても、町民の皆様のご理解・ご協力と、職員や関係者の皆さんの熱意欲と不断の努力が、ようやく目に見える形となって現実化してきた、ということが非常に喜ばしく、一番印象に残っています。

今年3月には「浪江駅西側地区整備計画」を策定しましたが、今後、浪江駅とFIREを結

ぶ浪江駅西側地区（川添地区）は、研究・教育や産業、生活や地域交流が一体化した、新たなまちづくりの拠点となっていきたいです。

復興事業の進展は、「未来の日本の地方がどう生きていくか」という課題にも直結していることから、将来を見据えた様々な社会変化に耐え得る町づくりをしていかなければ、と思いを強くしました。

また、多くの方々のご協力により、4月には15年ぶりの請戸川リバーラインでのさくら祭りと花火大会、大堀地区では昨年に続き大せとまつりが開催されました。さらに、今年の11月には新町通りでの十日市の開催が決定し、伝統文化や風習を次世代に伝えていくことの重要性を改めて実感しています。継続して町全体に地域の賑わい創出および波及を目指したいと考えています。

■より一層力を入れて取り組みたいことは

——やはり「農業の復興」です。一次産業は町の根幹であり、現在、農業の復興・再生に向けて様々な取組を進めています。ほ場整備が進む一方で、営農再開の低調や担い手の高齢化、担い手不足を解決するためには、農業法人の誘致や新規就農者等の営農人材の確保が課題です。

現在、棚塩地区の大規模畜産施設の整備が進んでいます。この施設で生産される堆肥や液肥を農地に投入し、地力を回復することで、将来的には優良農地の集積を目指します。

また、町の面積の約8割が帰還困難区域であり、その約9割が森林となっているため、国有林を含めた森林についても動き出す必要があります。先日、大阪万博の視察に行きましたが、福島高度集成材製造センター（FLAM）で加工された福島県産集合木材が、「大屋根リング」に使用され、国内外からの関心を集めました。私も実際に目にした時は、誇らしい気持ちになり、「どれだけ時間がかかろうと、林業を復興させていきたい」という思いが、より強くなりました。引き続き、帰還困難区域の森林・林業の再生を含めた政策および財源について、国や県と協議を重ねていきます。

「漁業」についても、今秋ごろには請戸川のサケふ化施設が完成予定です。今年の5月には完全陸上養殖のサバ「福の鰯」が初出荷されるなど、外水面・内水面漁業ともに前進しています。

また、産学官連携にて、有用なノウハウや知見を積極積極的に取り入れ、企業誘致にも力を入れていきます。

■町民の皆さんへメッセージを

——震災と原発事故で、本当にたくさんのものを失くし、憂いがないわけではありません。皆さん、様々な思いがあろうかと思いますが、次の世代に生きる人々のため、とにかく未来に向かって進むしかありません。

様々な事情で避難先から帰還することが難しい町民もたくさんいます。「元気にしているのか、困っていないか」と思いを巡らせることも多々ありますが、遠く離れて暮らす町民の皆さんをはじめ、国内外に浪江の今とこれからをお届けできればと考えています。

現在の町はまだまだ復興の途中ですが、たくさんの若い力が先人の想いを引き継ぎ、未来に向けた素晴らしい町になると確信しております。まさに継往開来です。

我々が祖先から受け継いできたこの大切な土地や想いが、この先何十年、何百年と実り豊かな森となるように、私も全力で駆け抜け、浪江町民の誰もが誇れる町を体現していきます。時いてきた種の芽吹きと新たな成長を、ぜひ楽しみに見ていてください。

皆さま、どうかくれぐれも、ご愛ください。



教育長就任の ごあいさつ

浪江町教育委員会 教育長 横山 浩 志

先の6月定例議会において議会の同意をいただき、6月25日付けで教育長に就任いたしました横山浩志と申します。浪江町の教育復興への職責の重さに身の引き締まる思いです。

私は今年3月、なみえ創成小学校長を退職いたしました。これまで、教諭として荻野小学校（東日本大震災で被災）や浪江小学校（避難先の二本松市で再開）に勤務しました。

浪江町の教育は、豊かな自然や歴史、郷土文化、震災前の学校の歴史や伝統を重んじながら、探求的な活動や対話を中心とした新たな教育活動に取り組んでいます。

ふるさとを愛し、未来に向かって希望を持ち続けることができるよう、こども園・小・中学校連携による少人数教育のさらなる充実に努めてまいります。

また、生涯学習やスポーツライフ、文化活動の充実に向け、微力ではございますが、学校・家庭・地域が一体となった教育行政に誠心誠意尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第15回 こどもの笑顔 フォトコンテスト

問 教育総務課子育て支援係 TEL 0240 (34) 0252

『なかよく・みんな・えがおで』をテーマに「浪江町民」で「中学校3年生まで」の子どもがモデルの笑顔の写真を募集します！

応募締切 **8月31日(日)** 当日消印有効
窓口受付 **8月29日(金)**まで

- 金 賞 1人 ▶ 図書カード10,000円分+うけどんグッズ
銀 賞 2人 ▶ 図書カード 5,000円分+うけどんグッズ
銅 賞 2人 ▶ 図書カード 3,000円分+うけどんグッズ
すてきな笑顔で賞 10人 ▶ 図書カード 1,000円分+うけどんグッズ

詳しくは
広報なみえ
7月号を
ご覧ください。

全員に 参加賞

撮影した写真を
オリジナルキーホルダー
にして贈呈します。



審査方法 福島県写真連盟会員による審査

メールからの応募方法

- ①写真を添付
- ②必要項目をメール本文に記入
- ③送信





保健 だより

☎ 健康保険課健康係 ☎ 0240(34)0249

やるしかない！ ～乳がんになっても前を向いて～

町では、浪江町内で実施するレディース検診にあわせ、日本生命保険相互会社と共催で乳がんセミナーを開催します。

元SKE48の矢方美紀さんを講師に迎え、乳がんにかかった経験を交えながら話をさせていただきます。

申込方法などの詳細については、同封のチラシをご覧ください。

日時 9月22日(月)
11時～12時20分 (受付10時30分)

場所 浪江町防災交流センター会議室
(浪江町大字室原字八龍内22-1 浪江インターチェンジそば)



講師

矢方美紀さん

(元SKE48 チームS リーダー)

※レディース検診の追加申し込みは健康係へ問合せください。

げんきパークで遊びながら育児相談

ふれあいげんきパークでの出張育児相談会「すくすく相談会」を毎月開催しています。日々の子育てに関する疑問や悩み、妊娠婦さんの相談に町の保健師などが応じます。身長・体重測定もできます。

予約不要ですのでお気軽にお声がけください。

- ▶ **日時** 毎月第4金曜日
10時～11時30分
- ▶ **場所** ふれあいげんきパーク
すくすくひろば内

※申込み不要



毎月**第4金曜日**
10時～11時30分



すくすくひろば

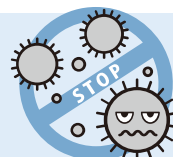
食中毒に注意!!

毎年8月は食品衛生月間です。食中毒は毎日食べている家庭の食事でも発生します。食中毒予防の3原則を実行し、夏を元気に乗り切りましょう。

また、1年を通してアニサキス(寄生虫)による食中毒が多発しています。お刺身を食べるときは、アニサキスがないかを確認しながら食べましょう。

食中毒予防の 三原則

- ・ **菌をつけない** …… こまめな手洗い。器具を清潔に保つ。
- ・ **菌を増やさない** …… 低温保存。調理したらすぐに食べる。
- ・ **菌をやっつける** …… 中心部まで十分に加熱する。



“来年春完成予定”

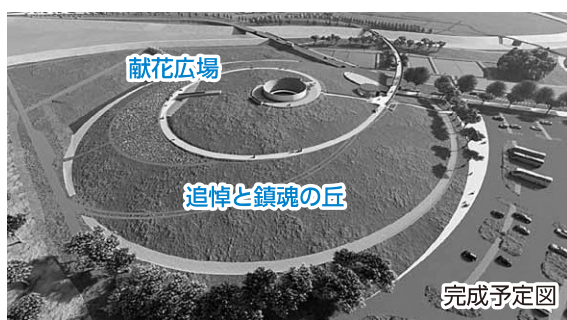
国営追悼・祈念施設の工事現場が公開

問 建設課土木管理係 電 0240(34)0243

福島県復興祈念公園（両竹地区・双葉町中浜地区）の中核となる国営追悼・祈念施設の建設工事現場が6月26日(木)、報道陣などに公開されました。現在の工事進捗率は55%で、「追悼と鎮魂の丘」の中心にある円筒形の空間が今後、盛り土で埋設されます。

丘の高さは16.5メートルで、周辺に達した津波と同じ高さです。丘からは太平洋を望み、東京電力福島第一原発も一部見ることができます。丘を歩いた先には献花広場が設けられ、震災と原発事故への思いを馳せる場となっています。

国営追悼・祈念施設は2026年春に完成予定です。



6月時点の工事現場（大林組提供）

阿武隈山地に国内最大級の風力発電所が完成

問 産業振興課新エネルギー推進係 電 0240(23)5713

浪江町、田村市、大熊町、葛尾村にまたがる阿武隈山地に「阿武隈風力発電所」が完成し、6月2日(月)、葛尾村の同発電所展望施設で竣工式が行われました。

阿武隈山地の稜線上に計46基の風車を備え、年間発電容量は約14万7千kw。一般家庭約12万世帯分の消費電力に相当し、陸上風力発電としては、発電機数・発電容量ともに国内最大です。住友商事など9社が共同出資する「福島復興風力合同会社(田村市)」が建設し、今年4月から運転を開始しています。

売電収入の一部は県再生可能エネルギー復興推進協議会を通じ、立地市町村で復興事業資金として活用されます。



提供: 福島復興風力合同会社

ありがとうございました



三洋工業株式会社様、株式会社福島銀行様から、ふくしま「ふくしま応援寄附型私募債」によりデジタルサイネージとポータブル電源一式の寄贈をいただきました。「町の魅力発信や風評払拭のための情報発信事業」に活用させていただきます。

「ふくしま応援寄附型私募債」は、福島銀行が発行する私募債の一種です。発行企業からいただく手数料の一部を、県内の地域社会に貢献する団体や施設へ寄附する仕組みです。

多文化共生ワークショップ アメリカのパン作り！

問 市街地整備課F-REI立地室 TEL 0240(23)6927

6月14日(土)、道の駅なみえで、「多文化共生ワークショップ アメリカ合衆国編」を開催しました。

このワークショップは、福島国際研究教育機構（F-REI）の浪江町への立地を受けて、外国人居住者の増加が見込まれることから、異文化理解を深めるために定期的に開催しています。

今回の講師は、アメリカ出身で浪江町在住のレイチェル・ジューキ（市街地整備課職員）。アイルランド系アメリカ人の間で親しまれる「アイリッシュソーダブレッド」（パンの発酵に必要なイーストの代わりに重曹を使うアイルランドのパン）を実際に調理し、参加した町民8人の皆さんで味わいました。

次回のセミナーは12月ごろの開催予定です。詳細は開催が近くなり次第、町ホームページや広報なみえでお知らせします。



レシピと資料はこちら

町民向けF-REIセミナー F-REIの進捗状況を説明

問 市街地整備課F-REI立地室 TEL 0240(23)6927

6月21日(土)、F-REIについて学ぶ今年度第1回目のセミナー「F-REIのことを知ろう!!」を開催しました。

12人の町民の皆さんが参加し、F-REIの事業進捗や施設整備状況について、F-REI経営企画課の寺山猛夫さん、柳沼一幸さんが説明しました。

参加者からは「今後F-REIがもたらしてくれるメリットについて期待したい」などのご意見がありました。



東京大学で成井副町長が講義

問 市街地整備課F-REI立地室 TEL 0240(23)6927

6月23日(月)、成井祥副町長が東京大学で昨年に続き講義を行い、学生22人が参加しました。

講義のテーマは「浪江町の東日本大震災および原子力発電所事故災害からの復興の取組について」。町の復興の歩みを解説し、学生と「原発災害からの復興にはどのような特徴があるか？」について討論しました。

講義終了後も意欲的な学生たちから、浜通りや浪江町で計画している活動について相談を受けるなど、将来の浪江町の復興の担い手候補とつながる機会となりました。



みんなの鳥獣対策

草もサルも、段どりひとつ！ 西台の二毛作×防護柵管理の極意



トラクターでけん引したオフセットシュレッダーによる
麦わら・畦畔雑草の除草風景

西台生産組合の営農は、町内では珍しい小麦と水稻の二毛作です。

繁忙期は6月下旬。小麦の収穫と水稻の播種が重なるのに加え、鳥獣が出没しやすく、雑草対策にも追われるなど大忙しです。この時期を乗り越える極意が、ワイヤーメッシュ柵 + 電気柵による鳥獣対策と、計画的な除草の管理。

先祖代々の農地を守り、発展させていくための西台地区の取り組みをご紹介します。

二毛作のスケジュール

月	小麦	水稻	除草管理
10月	播種		除草剤
5月			除草剤
6月	収穫	田植え	トラクター
7月			刈払機
9月			刈払機
10月		収穫	

ポイント 1

雑草の種を残さない

雑草の繁茂をなくすために、雑草の種を残さないことが重要です。10月、5月、6月、7月、9月の計5回除草を実施し、種ができる前に除草します。

ポイント 2

防護柵は土手から離す

トラクターでけん引したオフセットシュレッダーで除草ができるよう、防護柵の設置場所は土手から2mほど離して設置。

すべてトラクターで除草することで迅速な除草を実現しています。

10月の麦播種直後、5月の水稻作付け前に除草剤を散布し、繁忙期に除草が省略できるように工夫しました。



鳥獣被害の
ご相談は
ウェブからも
できます



連絡用フォーム



小麦の生産について 西台生産組合の小麦の収穫に密着しました。

1

麦畑をゆっくり進みながら、穂がなっている上部50cm程度を刈り取ります。

2

刈り取り後、コンバインから専用の袋にまとめます。

きぬあずま
ゆきちから

うどん
ラーメン
パン

収穫された小麦。「きぬあずま」、「ゆきちから」の2品種で、それぞれ用途が異なります。

3

収穫したばかりの小麦粒。碎くと小麦粉になります。

見学会とボランティアの申込フォーム

有害鳥獣捕獲隊 見学会

■日時 8月22日(金) 8時30分～10時30分

■内容 わなの設置場所の説明
わなの見回り

■対象 浪江町内在住の人

■定員 5人(先着順)

■申込締切 8月18日(月)まで

■申込方法 申込フォームから

防護柵設置 ボランティア募集

西台生産組合では耕作面積の拡大に伴い、防護柵の設置作業をお手伝いいただけるボランティアを募集しています。

■作業時期 10月予定
(詳細は個別にご連絡します。)

■作業場所 西台地区の農地

※軍手・長靴・帽子などをご用意ください。

■申込方法 申込フォームから

有害鳥獣の対策には地域の皆さん一人ひとりの力が必要です。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話しをお聞かせください。

..... ？？？

問 農林水産課農林水産係
TEL 0240(34)0246

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与(出荷を目的とした農地に限る)

追ひ払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会

町ホームページでもご覧いただけます

5/31
(土)

なみえパークゴルフ協会 協会長杯春季パークゴルフ大会

協会長杯春季パークゴルフ大会が、二本松市の日山パークゴルフ場で開催され、58人が参加しました。

当日はあいにくの小雨模様。肌寒さを感じながらもボールを打つ音がこだまする中、はつらつプレーに参加者の笑顔があふれる大会になりました。

結果は次のとおりです。(敬称略)

	男子の部	スコア	女子の部	スコア
優勝	泉田 文男	(116)	小林 昌子	(129)
準優勝	斉藤 勇壽	(116)	椎葉扶美江	(129)
第3位	梅津 義雄	(119)	蒔田由美子	(129)
第4位	横山 開	(121)	氏家 和子	(131)
第5位	岩倉 安英	(121)	大森八重子	(132)



6/4・5
(水) (木)

なみえ創成中 中体連、燃える夏

相双地区中体連総合大会が開催され、なみえ創成中からは卓球部とバドミントン部の生徒計20人が参加しました。

惜しくも上位大会への切符は逃しましたが、どの生徒も最後まで諦めることなく、粘り強いプレーを見せました。

特に、初めて公式戦に挑んだ生徒たちは、緊張の中でも自身のベストを尽くし、大きな成長を感じさせる大会となりました。



6/10
(水)

なみえ創成小 東京デフリンピックに向け手話講座

11月に開幕する東京2025デフリンピックに向けて手話講座を行いました。

全校児童約60人が参加し、福島県聴覚障害者協会の手話ろう者の吉田愛さんが講師となり、日常のあいさつや、スポーツ観戦で使える手話を教わりました。

デフリンピックは、Jヴィレッジ（広野町・檜葉町）で11月にサッカー競技が行われます。なみえ創成小児童も試合を観戦予定で、今回学んだ手話を、耳の聞こえづらい選手たちの応援や、障害のある人への理解に活かしていきます。





浪江町公式
フェイスブック



浪江町公式
インスタグラム



浪江町公式
エックス



なみえ
チャンネル



なみえ創成
ブログ

6/7・8
(土) (日)

大堀相馬焼協同組合

陶芸の杜で大せとまつり

大堀相馬焼の陶器市「大せとまつり」が、大堀地区の陶芸の杜おぼりで開催されました。

半谷窯、錨屋窯、休閒窯、松永窯、京月窯の窯元の皆さんが避難先から集まって焼き物を販売し、2日間に約2,500人が来場しました。

大せとまつりは震災の影響で途絶えていましたが、2023年、陶芸の杜の再開に合わせて13年ぶりに復活しました。



6/7
(土)

浪江にじいろこども園

も〜も〜スクールで搾乳体験

浪江にじいろこども園で、子どもたちが牛乳について学ぶ「も〜も〜スクール」が開催されました。3〜5歳児の約40人が参加し、牛の模型を使った搾乳体験や、牛乳ができるまでの流れ、牛の一生などを学びました。

この取り組みは、福島県酪農業協同組合と、棚塩地区に整備中の大規模畜産施設の運営予定者シャインコースト株式会社が、共同で開催しました。



6/28
(土)

室原川高瀬川漁業協同組合

請戸川でアユの稚魚放流体験

道の駅なみえ裏の請戸川で、子供たちによるアユの稚魚放流体験が行われました。

アユの稚魚放流は震災の影響で途絶えていましたが、3年前に再開して以来、毎年開催されています。今回は、なみえ創成小と浪江にじいろこども園の園児・児童と保護者約30人が参加し、アユ約3,000匹をバケツから放流しました。

放流したアユは、請戸川で大きく育ち、秋に産卵します。この卵からふ化した稚魚は海へ下って冬を越し、来春、請戸川をそ上します。



6月初旬

甘くて大粒！
ホッキ貝の漁が解禁



相馬双葉漁業協同組合のホッキ貝の漁が6月から解禁となりました。

請戸漁港でも連日たくさんのホッキ貝が水揚げされており、来年1月末まで漁が行われる予定です。

請戸産のホッキ貝は大粒で味が濃いのが特徴です。また、ホッキ貝の色は茶色やクリーム色など、それぞれ異なります。

これは生息場所の違いによるもので、茶色は砂地、黒っぽい色は泥地、と判別できます。



ホッキ料理教室開催します

ホッキの味噌煮

6月から水揚げされているホッキを使った料理教室を開催します。請戸漁港で働く「漁師かあちゃん」の調理法を学べる貴重な機会です。

「ホッキってどうやってむくの？」「美味しい食べ方を知りたい！」そんな疑問も、漁師かあちゃんたちが丁寧に教えてくれます。ホッキの魅力を存分に引き出す料理に挑戦してみませんか？

日 時	8月21日(木) 14時～16時
場 所	請戸漁港調理室 (浪江町大字請戸字中島地先)
内 容	ホッキのむき方や下処理、ホッキの味噌煮・刺身・バター炒めの作り方
講 師	請戸の漁師かあちゃん達
応募方法	QRコードから、または農林水産課農林水産係へ ☎ 0240 (34) 0246
申込期限	8月14日(木)
定 員	8人 (町内居住者に限る、応募者多数の場合は抽選)
費 用	1,000円 (当日集金)
主 催	相馬双葉漁業協同組合請戸支部女性部

申込
フォーム





浪江の夏を楽しもう

川添盆踊り大会

問 川添盆踊り大会実行委員会
畠山 行男
TEL 080(6024)3411

【日時】 8月14日(木) 16時～
小雨決行

【内容】 盆踊り、神楽奉納

【場所】 国玉神社境内
(浪江町大字川添字清信53)



ポストカードをゲット なみえ巡りスタンプラリー

なみえプロモーション課(企画財政課所属の地域おこし協力隊)は、浪江の素敵な風景を町民の皆さんに親しんでもらうため、ポストカード(計4種)を作成しました。スタンプラリーに参加することでポストカードをゲットできます。ぜひご参加ください!

【実施期間】

8月30日(土)まで

※景品受取りは
9月16日(火) 17時まで



請戸川
リバーライン



請戸海岸



大聖寺



丈夫公園からの眺め

参加 方法

- ①浪江町の5か所にあるスタンプを押す。(台紙は、各所に設置しています)
- ②スタンプが3つ以上たまるとオリジナルグッズをプレゼント。

スタンプ 設置場所

- ①浪江駅「なみえまるみえ館」内
- ②道の駅なみえ
- ③震災遺構浪江町立請戸小学校 入口脇
- ④いこいの村なみえ 受付脇
- ⑤なみえプロモーション課 事務所入口

集めたスタンプカードを持って①②の景品受取場所へお越しください。

①なみえプロモーション課事務所(浪江町大字幾世橋字六反田7-2 まち・なみ・まるしえ内)
(定休日 毎週 水曜・日曜・祝祭日)

②福島いこいの村なみえ(浪江町大字高瀬字丈六10)

参加景品として、ポストカード(計4種)の中から、好きなポストカードとなみえプロモーション課オリジナルステッカーをプレゼントします。



ぬいぐるみは展示終了後に贈呈します

制服をぬいぐるみの服に リメイクしませんか？



思い出の詰まった制服を、愛らしいぬいぐるみの服にリメイクして、もう一度身近に感じてみませんか？

2026年1月、「おもいでふたばのがっこう／制服リメイクギャラリー」を開催します。双葉郡の中学校・高校の制服を、卒業生や関係者の皆さんから提供いただき、ぬいぐるみが着用できるサイズ（約40cm）に無料でリメイクします。リメイクしたぬいぐるみは、双葉郡の各施設で展示します。展示終了後、制服提供者に贈呈します。見た人それぞれが、この地の思い出を懐かしみ、振り返るきっかけとなる展示になるよう、展示する制服を募集します。

申込みは、下記の問合せ先へ電話もしくはメールにてご連絡ください。

●対象校●

順不同、
旧校名・休校中・
閉校も含む

福島県立双葉高等学校、福島県立浪江高等学校、福島県立浪江高等学校津島校、福島県立富岡高等学校、福島県立双葉翔陽高等学校、浪江町立浪江中学校、浪江町立浪江東中学校、双葉町立双葉中学校、浪江町立津島中学校、大熊町立大熊中学校、福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校、広野町立広野中学校、楡葉町立楡葉中学校、葛尾村立葛尾中学校、富岡町立富岡中学校、浪江町立なみえ創成中学校、大熊町立学び舎ゆめの森、川内村立川内小中学園

問 フレックスジャパン株式会社／ひなた工房 TEL 026(261)3000 E karakisawa@flexjapan.co.jp

「ただいま、ふくしま。2025 in 東京」 募集

問 福島県庁ふくしまぐらし推進課 TEL 024(521)8023

福島県は、首都圏在住の福島県出身の若者を対象とした交流会を東京都内で開催します。

出身者同士で横のつながりを作れる絶好の機会です。

現在参加者募集中。対象となる家族、友人、知人がいる人はぜひご案内ください！

▶対象 首都圏在住の20～30代の福島県出身者
(定員200人)

▶日時 10月4日(土) 14時～17時(予定)

▶会場 BASE Q
(東京都千代田区有楽町1-1-2
東京ミッドタウン日比谷6階)

詳細は特設サイトをご覧ください。

特設サイト





スパリゾートハワイアンズ・敬老ご招待・

問 介護福祉課介護係 TEL 0240 (34) 0226

多年にわたり社会貢献された皆さんの長寿をお祝いし、常磐興産株式会社のご厚意により、以下の対象者を「スパリゾートハワイアンズ」に無料招待します。

- ▶ **対 象 者** 浪江町に住民票のある70歳以上（令和7年9月1日時点）の人
（招待者本人と付添者1人（年齢不問）の計2人が入場無料）
- ▶ **有効期間** 9月1日(月)～11月30日(日)
（期間内1回のみ利用できます）
- ▶ **申込方法** 介護福祉課介護係へお電話ください。
招待券の発送には1週間程度かかります。
- ▶ **申込期間** 8月12日(火)～11月14日(金)



第13回 浪江町 [絆づくり] パークゴルフ交流会

なみえパークゴルフ協会では、「第13回浪江町 [絆づくり] パークゴルフ交流会」を開催します。

- ▶ **日 時** 9月20日(土) 小雨決行 受付：8時30分～
- ▶ **場 所** 田村市パークゴルフ場
（田村市船引町櫛山字朝日前20-1 TEL 0247 (61) 7090）
- ▶ **参加資格** なみえパークゴルフ協会会員および浪江町に在住していた愛好者、協会員が交流している各地区パークゴルフ協会会員
- ▶ **参加人数** 150人（定員になり次第締め切ります）
- ▶ **参 加 費** 一人1,500円（コース使用料・昼食含む）
（参加費は、当日徴収します。）
- ▶ **締 切 日** 9月11日(木) 定員になり次第締め切ります。
※申込み後のキャンセルは受け付けません。
不参加の場合は、代理者の参加をお願いします。
- ▶ **競技方法** 4コース36ホールストロークプレー
使用コース（かたそね・たかしば・おおたきね・かまくら）



【申込み先】	なみえパークゴルフ協会長	高野 登	TEL 090 (3362) 3553
【問合せ先】	なみえパークゴルフ協会事務局	横山 開	TEL 090 (2279) 6072

ここから下は広告です。



町営住宅の入居者を募集

問 住宅水道課住宅係 Tel 0240 (34) 0232

- ▶ 受付期間 8月12日(火)～8月22日(金) ※当日必着
- ▶ 入居開始日 10月1日(火)
- ▶ 申込方法 入居申込書を住宅係に提出してください。
※入居申込書は住宅係に請求または町ホームページからダウンロードしてください。

▶ 申込先 住宅水道課住宅係（郵送可）、津島支所、各出張所（福島・二本松・いわき）

▶ 募集住宅（6月26日(木)時点）

最新の空室状況はホームページまたは住宅係までお問合せください。

[町ホームページ](#)



幾世橋集合住宅



住宅名称	住宅種別	対象者	所得要件	構造	間取り	家賃の目安	空室
幾世橋集合住宅 (幾世橋字齊藤屋敷71-2)	福島再生 賃貸住宅	帰還者 移住者	月額 48万7千円 以下	RC造 5階建 集合2棟	1LDK (優先)	9,700円 ～51,500円	有
					1LDK (車いす・優先)		
御殿南住宅 (権現堂字御殿南18-16)	公営住宅	帰還者	なし	木造平屋 2戸1棟	2DK	16,700円 ～44,200円	有
		低額 所得者	月額 15万8千円 以下				



住宅を再建して帰還を考えている人へ

問 住宅水道課住宅係 Tel 0240 (34) 0232

個人住宅再建支援事業補助金（上限25万円）に加えて、新たな補助制度「**帰還促進強化事業補助**」を開始します。

■平成23年3月11日時点で浪江町に居住していた人が、新築・修繕・購入した浪江町内の住宅に帰還した日が…

(1)令和5年3月31日以降の場合、県補助金と合わせて

- ・新築（対象経費の10/10）
→補助上限額400万円〔県補助金300万円〕
（内訳：個人住宅再建支援事業補助25万円 **帰還促進強化事業補助375万円**）
- ・修繕・中古住宅購入など（対象経費の1/2）
→補助上限額100万円〔県補助金50万円〕
（内訳：個人住宅再建支援事業補助25万円 **帰還促進強化事業補助75万円**）

(2)令和5年3月30日以前の場合

- ・新築（対象経費の10/10）
→補助上限額100万円
（内訳：個人住宅再建支援事業補助25万円 **帰還促進強化事業補助75万円**）
- ・修繕・中古住宅購入など（対象経費の1/2）
→補助上限額 50万円
（内訳：個人住宅再建支援事業補助25万円 **帰還促進強化事業補助25万円**）

■申請の注意点

- ・この補助金を受給するには、町内の住宅に帰還し生活していることが必要です。
なお、県補助金と合わせて、令和12年度まで事業を実施する予定です。
- ・帰還したかどうかは、水道または電気使用量等を参考に総合的に判断します。

帰還困難区域の 立入規制を緩和

問 企画財政課企画調整係 Tel 0240 (34) 0240

帰還困難区域における次の立入規制を、7月15日(火)に緩和しました。

立入規制緩和区域では、一時立入通行証の申請は不要となります。

- 津島稻荷神社アクセス道路 ●長安寺広谷地墓地
- 大堀後畑墓地 ●大堀西原墓地
- 井手唐沢墓地 ●井手山田前墓地



東京電力ホールディングス株式会社からの 各種サポートのお知らせ

住宅への進入路などの除草作業のお手伝い

- 対象区域 ● 浪江町全区域
- 内 容 ● 一時帰宅に支障となる公道から自宅玄関までの進入路および1～2台分の駐車スペースの除草。
- 注 意 点 ● 田畑や更地の除草、樹木の伐採は対応できません。
● 刈払機を使用し、除草した草は刈り倒しまたは敷地内に集積させていただきます。
● 受付順に除草を計画しますので、除草完了まで2～3か月かかる場合があります。
● 事前に現地確認（現地立会）が必要な場合があります。

簡易作業のお手伝い

- 対象区域 ● 避難指示解除区域（帰還困難区域以外の地域）
- 内 容 ● 家財道具・物品の片付けや搬出（敷地内）など、2人で1時間程度でできる軽作業。
- 注 意 点 ● 不要物の処分・敷地外への運搬は依頼者で行ってください。
● 事前に現地確認（現地立会）が必要な場合があります。

問 東京電力ホールディングス株式会社福島復興本社復興推進室 浪江町・葛尾村グループ
Tel 080(5527)3959

《受付日》 月曜日～金曜日 ※8月12日(火)～8月15日(金)を除く
《受付期間》 受付日の9時～12時、13時～16時

【お詫びと訂正】 広報なみえ7月号23ページ「東京電力HDの各種サポート」で、問合せの電話番号に誤りがありました。正しくは Tel 080(5527)3959 です。ここに訂正しお詫びします。

農業委員会だより

問 農業委員会事務局（農林水産課内） Tel 0240(23)5706

農地パトロールを実施します



【令和7年度 農地パトロール】

- 実施期間 8月～9月
- 農地パトロール員
農業委員、農地利用最適化推進委員、（町職員）
※農地パトロール員は身分証を所持し、緑色の帽子を着用しています。

農業委員会では、毎年8月ごろに、「地域の農地利用確認」、「遊休農地の実態把握」、「違反転用の早期発見と防止」を目的として農地パトロールを実施しています。

農地パトロールの期間中は、農地パトロール員が調査のため農地に立ち入る場合があります。ご理解とご協力をお願いします。

農地の適正な管理を怠ると、雑草の繁茂による病害虫の発生や、鳥獣の巣になったりするなど、近隣の迷惑となる恐れがあります。また、一旦荒廃が進むと耕作可能な状態へ復元するには多大な労力と費用が必要となります。農地の管理は、農地法において所有者の責務として規定されていますので、適正な管理をお願いします。

9月総会に提出する議案の申請締切日は9月1日(月)です。お早めにご相談ください。



公民館事業

受講生募集

☎ 生涯学習課社会教育係 ☎ 0240 (23) 5601



- 各事業の申込期限までにふれあい交流センターへ参加費を添えてお申込みください。
○受講者が定員に達した場合は募集を締め切らせていただきます。

事業名	内容・日程など	申込期限
ヨガ教室 (ボディメイク)	内 ヨガのポーズ、呼吸法で心身ともにリフレッシュしましょう 日 9月9日(火) 18時30分～19時30分 場 ふれあい交流センター 定 10人 費 1回500円 他 運動できる服装、お子様連れでの参加も可能です	前日まで
優しい リズムステップ 教室	内 ダンスの基礎を学び、楽しく動きましょう 日 9月3日(水) 18時30分～19時30分 場 ふれあい交流センター 定 10人 費 1回500円 他 運動できる服装、お子様連れでの参加も可能です	前日まで
ボイス トレーニング教室 (発声トレーニング)	内 発声の基礎を学び、歌唱力を向上させましょう 日 8月21日(木)・9月4日(木) 18時30分～19時30分 場 ふれあい交流センター 定 10人 費 500円 他 動きやすい服装、お子様連れでの参加も可能です	前日まで
ペン字教室	内 美しい字の書き方を基礎から学びましょう 日 8月18日(月) 10時～12時 場 ふれあい交流センター 定 10人 費 500円 他 汚れてもいい服装	前日まで
親子運動教室	内 ニュースポーツの「モルック」や「ピククルボール」を体験して親子の絆を深めましょう 日 8月25日(月) 18時～19時 場 スポーツセンター 定 10人 費 無料 他 運動できる服装	前日まで
優しい ストレッチ教室 (柔軟教室)	内 筋肉をほぐし、柔軟性や関節の可動域を広げ凝った身体をほぐしましょう 日 8月27日(水) 18時30分～19時30分 場 ふれあい交流センター 定 20人 費 500円 他 動きやすい服装、お子様連れでの参加も可能です	前日まで
アライメント 教室	内 アライメント＝体の姿勢。身体のバランスを整え不調を改善しましょう 日 8月29日(金) 18時～19時 場 ふれあい交流センター 定 10人 費 1回500円 他 運動できる服装	前日まで
第2期 初めての乗馬 ～馬を知ろう～	内 馬を知り、乗馬を体験しましょう 日 9月6日(土)・10月11日(土)・11月8日(土) (2期全3回) 10時～12時 場 ふれあいブランド 定 6人 費 2期6,000円 他 運動できる服装	8月29日 (金) まで
ポーセラーツ 教室	内 白磁やガラスに転写紙を貼って、世界に一つだけのオリジナル器をつくりましょう 日 9月21日(日)・11月16日(日) 10時～12時 場 ふれあい交流センター 定 15人 費 無料 申 申込みフォームから	8月31日 (日) まで

申込フォーム



内 講座の内容 **日** 開催日時 **場** 集合場所 **定** 定員 **費** 参加費 **申** 申込み **他** 対象者や持ち物など



避難先での困りごと「復興支援員」にご相談を

問 浪江町復興支援員（浪江町社会福祉協議会） 福島事務所 Tel. 024 (572) 5575
関東事務所 Tel. 080 (6294) 5961

浪江町復興支援員は、避難先の生活で心身ともに安定した生活を送れるよう、避難者の皆さんを支援しています。どのような内容でも構いません。困りごとなどがあれば、お気軽にご相談ください。

主な活動内容

- 電話や訪問による相談支援
- サロンなど交流会の開催
- 郡山交流館（コスモスふれあいセンター）の運営管理 など

今後の交流会予定

● 8月20日(水) 13時～15時

場所：北公民館
（会津若松市高野町大字上高野字村前28）
内容：榎本理鶴先生による「いけばな体験～つなげよう花の心」
参加費無料（花器は貸出、花のみ持ち帰り）

● 8月26日(火) 13時～15時

場所：あつまっぺ交流館
（福島市渡利字舟場2-1福島出張所内）
内容：カーリンコン

● 9月10日(水) 13時～15時

場所：サンフレッシュ白河
（白河市久田野城内31）
内容：未定

● 9月11日(木) 10時～12時

場所：南相馬市大町地域交流センター
（南相馬市原町区大町二丁目110番地）
内容：未定

※今後も県内各所で交流会開催予定。詳細はお問合せください。



選挙管理委員会委員の改選

問 選挙管理委員会 Tel. 0240 (34) 0235

6月定例議会での選挙の結果、次の4人が選挙管理委員会委員に選ばれました。

さらに、6月25日(水)に行われた選挙管理委員会において、委員長、職務代理者が決定しました。

任期は令和11年6月21日までの4年間です。



委員長
根本 伸治
(酒井)



委員長職務代理者
佐山 弘明
(請戸)



委員
桑原 泉
(田尻)



委員
堀井 宏宣
(権現堂)

ここから下は広告です。



ごみの出し方と衛生センターへの持ち込み

家庭ごみの出し方について

ごみは指定袋に入れて、収集日の朝（8時30分まで）に、ごみステーションに出してください。（帰還困難区域を除く）

ごみの分別方法と回収日については、『ごみと資源の分け方・出し方』、『ごみの収集カレンダー』をご確認ください。『福島県環境アプリ』では、収集日や分別方法が確認でき、ポイントでプレゼントに応募することもできます。



「プラスチック製容器包装」ごみの分別について

プラスチック製容器包装ごみ袋の中に、生ごみや製品プラスチックなどの混入が多くみられます。分別ルールを改めてご確認ください、適切な分別収集にご理解ご協力をよろしくお願いします。

《プラスチック製容器包装ごみとなるもの》

商品を入れたり包んでいる容器や包装物、ペットボトルなどのキャップやラベル、発泡スチロールなどで、プラスチック容器包装のリサイクルマーク（♻️）が付いているものです。汚れているものは水で流すなどし、付着物の残っているものは燃えるごみに出してください。

《プラスチック製容器包装ごみとならないもの》

プラスチック製容器包装ごみに汚れが付着しているもの。特に生ごみが混入されていると袋内のごみにも付着し、袋内の他のごみもリサイクルできなくなってしまいます。

ハンガーやバケツ、ごみ箱などプラスチック製品（固いプラスチック）のもの。これらのごみは燃えるごみで捨ててください。

事業系ごみの処理について（事業者へお願い）

業種や規模を問わず、小規模のお店など事業を伴って発生したごみはすべて「事業系ごみ」となります。事業系ごみは「事業系一般廃棄物（紙ごみ、弁当容器、カン、ビン、ペットボトルなど）」と「産業廃棄物（法令で定める20種類のもの）」に分けられ、これらのごみはごみステーションに捨てることはできません。ごみステーションに廃棄した場合、不法投棄となりますので、事業者自ら南部衛生センターへ廃棄物の持ち込み処理を行うか、一般廃棄物収集運搬業許可業者へ委託して処理をお願いします。事業系ごみについては、双葉地方広域市町村圏組合施設維持課または南部衛生センターにお問い合わせください。

産業廃棄物については、産業廃棄物収集運搬業許可業者へ依頼してください。

北部衛生センターへの持ち込みはできませんのでご注意ください。

北部衛生センターへの持ち込みについて

北部衛生センターでは、浪江町内（帰還困難区域を除く）の家庭ごみの受入れを行っています。
※粗大ごみや、指定ごみ袋以外での持込みは有料となります。

《受入時間》

- ・ 平日（年末年始の12月29日～1月4日を除く）
8時30分～11時30分、13時～16時15分
- ・ 祝日などの受入日
8時30分～11時30分

※北部衛生センターでは、家電リサイクル法に指定されている家電や、廃油、農業用具類、産業廃棄物となるブロックや瓦など、持ち込めないものがあります。詳しくはお問い合わせください。

《休日受入日》

- 令和7年
8月11日(月)・9月15日(月)
10月13日(月)・11月3日(月)
12月21日(日)
- 令和8年
1月12日(月)・2月11日(水)
3月20日(金)

避難先でのごみの直接持込について

避難先である市町村のごみ処理施設に家庭ごみを直接持ち込む場合、お住まいの住所などの確認が必要となるケースがあります。身分証の住所などが変更されていない場合など、別の書類などが必要となる場合がありますので、お住まいの市町村にご確認ください。

- 問 双葉地方広域市町村圏組合環境衛生課施設維持係
- 問 双葉地方広域市町村圏組合北部衛生センター
- 問 双葉地方広域市町村圏組合南部衛生センター
- 問 浪江町役場住民課除染環境係

- TEL 0240(22) 3333 8時30分～17時15分
- TEL 0240(35) 5454 8時30分～17時15分
- TEL 0240(25) 4609 8時30分～17時15分
- TEL 0240(34) 0228 8時30分～17時15分



浪江混声合唱団と一緒に歌いませんか

☎生涯学習課社会教育係 ☎0240(34)5601

浪江混声合唱団は今年で結成42年。新規団員を随時募集しています。

仲間と一緒に歌う喜びを実感しながら、毎月1回、避難先から集まって練習しています。



芸能祭やコンサートなどにも出場しています。年齢など制限はありません。お気軽にお越しください。

合唱団への入団など、詳しくは合唱団団長の志賀雄一さん(☎080(5570)3989)へお問合せください。

▶練習日 月1回(第3木曜日)

▶時間 13時～15時30分(変更あり)

▶場所 ふれあい交流センター

▶年会費 16,000円

弘前大学イベント情報館 サロンなみっぷる(8月)

☎弘前大学浪江町復興支援室(健康保険課内)
☎080(2813)0824

弘前大学では、特定復興再生拠点区域の津島地区で生活する皆さん向けにサロンを開催しています。

▶日時 8月16日(土) 10時～15時
(最終受付14時30分)

▶場所 つしま活性化センター
(浪江町大字下津島字松木山22-1)

今回のサロンなみっぷるでできること

- 簡単な健康チェック(血圧や体の中の酸素濃度の測定)
- 津島地区における放射線の状況に関する調査結果の紹介
- 放射線に関するご相談
- 日常生活での困りごとのご相談
- 参加無料・どなたでも参加できます!
- お茶を飲みながらお話ししましょう

ここからは広告です。

📢 イベント・募集

【子供向け】科学体験教室

☎市街地整備課F-REI立地室 ☎0240(23)6927

福島国際研究教育機構(F-REI)の立地を受け、子供たちに科学の楽しさを知ってもらうため、東京科学大学と協力して「科学体験教室」を開催します。小学4年生～中学生が対象です。

詳しくは町ホームページまたは今月号に同封のチラシをご覧ください。

▶日時 8月30日(土) 13時30分～15時

▶場所 秋桜アリーナ
(浪江町大字権現堂字下馬洗田5-2)

▶定員 15人

▶参加費 無料

▶申込方法
電話または申込みフォーム

[申込フォーム](#)



第5回英語コミュニケーション教室

☎市街地整備課F-REI立地室 ☎0240(23)6927
✉namie-suk@town.namie.lg.jp

昨年度まで開催していた英会話教室の発展的な教室(ロールプレイング重視)を、4月から9月にかけて全6回構成にて開催します。

▶第5回テーマ

英語と日本語での会話の違い

▶日時 8月15日(金) 18時30分～19時30分

▶場所 ふれあい交流センター会議室
(浪江町大字権現堂字矢沢町40-1)

▶対象 浪江町民
(町内企業などの就労者も可)

▶定員 20人

▶参加費 無料

▶申込方法
電話、メールまたは申込フォーム

[申込フォーム](#)





第3回ファミリーゴルフ大会

問 生涯学習課社会体育係 Tel 0240 (34) 3941

年齢を問わず誰でも楽しめるように考案されたニュースポーツ、ファミリーゴルフ大会の参加者を募集します。

▶日時

9月30日(火) 受付13時～

※小雨決行

(荒天時は、10月7日(火)に延期)

▶場所 浪江町ふれあいグラウンド

▶参加人数 40人

▶参加資格

浪江町在住の人、震災時に浪江町在住だった人

▶参加費 無料

▶競技方法 シングル戦、18ホール

▶申込み締切 8月29日(金)

※定員になり次第、締め切ります。



法律問題に関する相談会

問 浪江町役場福島出張所 Tel 024 (529) 7451

問 浪江町役場いわき出張所 Tel 0246 (24) 0020

問 浪江町役場二本松出張所 Tel 0243 (62) 0123

町の弁護士が法律問題について、ご相談に応じます。

※対応する弁護士は、町の職員であるため、裁判などの代理人になることはできません。代理が必要な案件の場合は、弁護士会をご紹介します。

▶場所および日程

●福島出張所 9月3日(火)

●いわき出張所 8月12日(火)、8月26日(火)
9月9日(火)、9月30日(火)

●二本松出張所 8月19日(火)、9月16日(火)

▶時間 13時～16時

※予約不要ですが、一組ずつの相談となりますので、お待ちいただくことがあります。

スマホ・タブレットの使い方相談会

問 企画財政課情報統計係 Tel 0240 (34) 0241

スマートフォン・タブレットの操作や「なみえ新聞」、「LINE」などのアプリの使い方分からないことがある人向けの相談会を開催しています。

スマートフォンやタブレットを持参のうえ、お越しください。

■浪江町開催

▶日時 8月8日(金) 10時～12時

8月22日(金) 10時～12時

▶場所 浜通り地域デザインセンターなみえ
(浪江町大字権現堂字上続町11-3)

■いわき市開催

▶日時 8月18日(月) 10時～12時、13時～15時

▶場所 いわき出張所
(いわき市平南白土1丁目5-12)

※予約不要。

相談会は1人ずつの対面式です。



トレーニングマシンをもっと知ろう

問 秋桜アリーナ Tel 0240 (34) 3941

秋桜アリーナのトレーニングルーム利用者を対象に、トレーニングマシンの正しい使い方、効果的な使い方などのアドバイスを健康運動指導士が行います。

▶日時 8月5日(火) 9時30分～11時30分

8月13日(水) 17時30分～19時30分

8月22日(金) 14時～16時

8月29日(金) 17時30分～19時30分

9月4日(木) 9時30分～11時30分

9月10日(水) 17時30分～19時30分

9月19日(金) 14時～16時

9月26日(金) 17時30分～19時30分

※トレーニングルームを利用できる人数に制限を設けていますので、ご利用をお待ちいただくことがあります。

ここから下は広告です。



保険・年金

スマホで国民年金の手続きができます

☎ 日本年金機構平年金事務所 ☎ 0246 (23) 5611
(自動音声がかかります。2番→2番を選択ください)

国民年金の手続きの一部では、電子申請が可能です。

インターネットを利用して申請・届出ができるため、いつでも、どこでも手続きが可能です。

※電子申請にはマイナポータルの開設が必要です。

詳しくは
ウェブへ



介護・福祉

介護用品購入費用の助成

☎ 介護福祉課介護係 ☎ 0240 (34) 0226

在宅要介護高齢者とその家族の生活を支援するため、介護用品購入に係る費用の一部を助成します。

▶対象者

- ・在宅介護を受けている要介護3以上の人
- ・在宅介護を受けている要介護2以下の人で、ケアマネジャー等による「介護用品給付利用者状況調書」を添付し、承認された人
- ・身体障害者手帳1級・2級、または同等の障害がある65歳以上で、承認された人

▶対象介護用品

大人用紙おむつ、尿取りパッド、清拭剤、使い捨て手袋、お尻ふき など

(日用生活用品、介護用衣類は除く)

▶助成金額

対象介護用品の購入費（一人につき月額3,000円が上限）

▶給付の申請

「介護用品給付申請書(様式第1号(第4条関係))」を提出してください。要介護2以下の人は「介護用品給付利用者状況調書」もあわせて提出してください。審査の上、給付の可否をお知らせします。

給付決定通知が届きましたら助成の申請をしてください。

各種様式は町ホームページでダウンロードいただけます。

町ホームページ



子ども・子育て

子育て広場

第4回子育てサロン「ぽかぽかテラス」

☎ 浪江にじいろこども園 ☎ 0240 (25) 8619

▶日時 8月28日(木) 10時～11時30分

▶場所 ふれあいげんきパーク

▶内容

「食育パネルシアター」

お母さん同士のふれあいタイム、次回の案内など

※今回は妊娠中の人も参加可能です。

▶申込方法

8月21日(木)までに浪江にじいろこども園まで電話でお申込みください。

移住者向け結婚支援金

☎ 企画財政課移住推進係 ☎ 0240 (23) 5764

結婚後に浪江町に移住されたご夫婦や、浪江町に移住後出会ってご結婚されたご夫婦に対し、結婚支援金を交付しています。

▶対象者

次の要件の全てを満たす人

- (1) 令和3年4月1日以降に夫婦のいずれか、または夫婦ともに新たに浪江町に移住した人で、移住後3年以内に婚姻届を提出された夫婦、もしくは、令和3年4月1日以降に婚姻届を提出し、婚姻届受理日から3か月以内に、夫婦のいずれかまたは夫婦ともに浪江町に移住された夫婦
- (2) 夫婦ともに、過去にこの支援金の交付を受けていないこと
- (3) 支援金申請日現在において夫婦ともに45歳以下
- (4) 町税などの滞納がないこと
- (5) 夫婦ともに引き続き将来にわたって（概ね5年以上）浪江町に居住する意思がある夫婦
- (6) 夫婦ともに浪江町内に居住していること

▶支援金の額

- (1) 基本額 夫婦一組につき20万円
- (2) 加算額 以下の1要件ごとに15万円加算
ア 夫婦のいずれかが福島県外からの移住者
イ 夫婦のいずれかが町地域おこし協力隊員

▶申請期間

婚姻の日から1年経過した日から1年以内

※申請を予定される場合は、令和7年12月26日(金)までに移住推進係にご連絡ください。

▶注意点

令和6年度中までに婚姻され、引き続き浪江町に居住する意思がある夫婦が対象となります。



■給付額

・不足額給付金(1)の対象者

「当初調整給付」の給付額の不足分（支給額は対象者ごとに異なります）

所得税、個人住民税所得割それぞれに「控除不足額」（減税しきれない額）を算出し、その合計額から当初調整給付額を差し引いた金額を1万円単位で切り上げて支給

・不足額給付金(2)の対象者

原則4万円（令和6年1月1日時点で国外居住者であった場合は3万円）

■調整給付金の給付時期

調整給付金の対象となる人については、7月以降順次支給のお知らせ、確認書を送付します。

給付時期は支給のお知らせに記載の支給日、または申請書を受け付けてから概ね4週間で指定の口座へ振り込みます。

※不足額給付金(2)の対象の人、令和6年中に浪江町に転入した人、税の修正申告をされた人はお問合せください。

★その他

（仮称）中ノ森山風力発電事業 環境影響評価書の縦覧

☎ 中ノ森山風力合同会社 ☎ 080(2838)0101

中ノ森山風力合同会社が、葛尾村において計画している風力発電事業に係る環境影響評価書を縦覧します。

▶縦覧書類

（仮称）中ノ森山風力発電事業 環境影響評価書

▶縦覧場所

浪江町役場本庁舎3階 産業振興課
浪江町役場津島支所

▶閲覧期間

8月1日(金)～9月1日(月)

双葉・浪江～南相馬線の実証運行終了

☎ 企画財政課企画調整係 ☎ 0240(34)0240

令和5年10月より東北アクセス株式会社がバスの実証運行を行っていた、双葉・浪江～南相馬線について令和7年9月30日(火)をもって終了となります。

南相馬方面に向かう際は、デマンドタクシー（町民限定）やJR常磐線をご利用ください。



税金

令和7年度 個人事業税の課税のお知らせ

☎ 福島県相双地方振興局県税部課税課事業税チーム
☎ 0244(26)1126

個人事業税は、県内に事務所・事業所を設け、物品販売業や不動産貸付業など法律で定められている事業を行う個人に納めていただく県の税金です。

令和6年分の所得について課税となる人には、令和7年度個人事業税の納税通知書を8月8日(金)に発送しますので、納期限の9月1日(月)までに納付をお願いします（課税額が1万円を超える場合は、8月と11月の2回に分けての納付となります。）。

なお、所得税の確定申告時期等によって、納税通知書の発送時期は、遅れることがあります。



定額減税補足給付金（不足額給付）

☎ 介護福祉課福祉係 ☎ 0240(34)0238

令和6年に実施した定額減税をしきれないと見込まれる人への給付金（当初調整給付金）の支給額に不足が生じる人に対し、不足分を支給します。

支給対象者には「調整給付金（不足額給付分）支給のお知らせ」を郵送しています。

マイナンバーの公金登録などを行っている人は、原則として申請などの手続き不要で指定の口座に振り込みをします。

口座登録などをしていない人は、8月以降に確認書を郵送します。確認書に必要事項を記入し、添付書類を返信用封筒にて10月31日(金)までに提出してください。

■支給対象者

令和7年1月1日時点で浪江町に住民登録があり、不足額給付金(1)か不足額給付金(2)のどちらかに該当する人

所得税・住民税ともに定額減税をしきれた人、または合計所得金額が1,805万円超の人は対象となりません。

・不足額給付金(1)の対象者

令和6年分所得税および定額減税の実績額等が確定したのち再算定した結果、当初調整給付の給付額に不足があることが判明した人

・不足額給付金(2)の対象者

事業専従者（青色・白色）や合計所得金額48万円超の人で、定額減税・低所得世帯向け給付金とも対象にならなかった人



特定帰還居住区域での被災家屋等の解体申請受付中

☎ 環境省被災建物解体受付センター
(高島テクノロジーセンター) ☎ 0120(603)016

環境省では、特定帰還居住区域での家屋等の解体の申請の受付をしています。解体を希望する場合は、解体申請窓口にご相談ください。

■対象家屋

次の1～3に該当する家屋

1. 対象範囲

特定帰還居住区域（井手、小丸、大堀、酒井、室原、羽附、津島、下津島、南津島、赤宇木、川房、昼曽根の各一部）およびその周辺に位置する家屋など。

※所有建物の住所が区域範囲内か確認したい人は、受付窓口までお問い合わせください。

※特定復興再生拠点区域の解体申請受付は、令和6年4月1日をもって受付を締め切りました。

2. 対象家屋など

東日本大震災および長期避難に伴い荒廃した住家、倉庫、物置、納屋、畜舎、農業ハウス、事務所、店舗など

※原則、環境省が除染した家屋等は解体の対象にはなりません。解体の意向がある場合は、解体前に家屋の除染を希望しないでください。ただし、過去に特定復興再生拠点区域外縁として家屋除染し、現在は特定帰還居住区域内にある家屋等については、解体対象となる場合もあります。所有建物が解体対象となるか確認したい人は、受付窓口までお問い合わせください。

3. リ災証明

震災時点で居住していた住家の場合は、浪江町が交付する「リ災証明書」において「半壊」以上の判定であること。

■解体申請受付窓口

環境省被災建物解体受付センター
(高島テクノロジーセンター)
《場所》浪江町大字権現堂字石井前44-1

農業制度資金の特例措置

☎ 福島県農業経済課 ☎ 024(521)7349

福島県では、農業経営に係る設備資金や、運転資金などを低利で融資する農業制度資金を用意しています。

東日本大震災による被害を受け、農業経営を再開予定の人、または農業経営再開後2年を経過していない人などについては、融資が無利子となる特例措置があるほか、その他の場合も対象資金における優遇措置があります。

詳しくは「福島県 東日本大震災資金融資」で検索いただくか、

QRコードを読み込み、リーフレットにてご確認ください。

詳しくは
ウェブへ



商品券の使用期限 9月30日(火)まで

☎ 浪江町商工会 ☎ 0240(35)3321

なみえげんき商品券の使用期限は、9月30日(火)までです。

必ず、使用期限内にお使いください。

商品券の現金での払い戻しはできませんのでご注意ください。



取扱店舗一覧



帰還困難区域内への一時立入りには事前手続きが必要です

☎ 一時立入り受付コールセンター
☎ 0120(220)788

帰還困難区域への一時立ち入りについて、お盆（8月13日～17日）、彼岸（9月20日～26日）の期間も当日受付ができます。

問い合わせ番号をお持ちの人は、コールセンターへ電話で申込みください。

なお、コールセンター以外での申請は、浪江町防災交流センター、浪江町役場本庁舎2階の総務課防災安全係、津島支所、各出張所で事前の手続きが必要です。ご親戚の人などにも事前に手続きするようにお知らせください。

※各種資料はコールセンターへ問合せください。

※申込み時および立入時には、問合せ番号をお伝えいただくと手続きがスムーズに進みます。

ここから下は広告です。



町内空間線量測定結果

☎ 総務課防災安全係 TEL 0240 (34) 0229

原子力規制委員会のモニタリングポストが設置されていない地点の空間線量測定結果をお知らせします。
シンチレーション式サーベイメータにより、地上1メートル地点の測定値を掲載しています。

(単位: $\mu\text{Sv/h}$)

地 区	測 定 地 点	測定値
浪 江	新町セブンイレブン付近	0.09
	新町ふれあい広場付近	0.11
	常磐線陸橋東側	0.14
	常磐線陸橋西側	0.16
	川添字小丸田地内	0.30
	国道6号高瀬交差点付近	0.08
	高瀬字小高瀬迫地内	0.19
	貴布祢 (幾世橋字長田東地内)	0.11
幾 世 橋	北幾世橋字町尻地内	0.12
	北幾世橋字荒井前地内	0.11
	棚塩字弥平迫地内	0.09
	浪江にじいろこども園	0.07
	請戸橋南側	0.08
請 戸	中浜字西原地内	0.07
	両竹字的場地内	0.07
	小丸字赤下地内	0.88
大 堀	小丸字三程地内	0.35
	畑川集会所	0.37

地 区	測 定 地 点	測定値
苧 野	立野字根渡地内	0.22
	酒田字上原地内	0.22
	国道114号仙人沢トンネル南側	1.24
	室原字小萱地内	0.36
	室原字堀知木地内	0.38
	加倉スクリーニング場	0.50
	加倉ローソン付近	0.22
	藤橋字善明迫地内	0.08
	藤橋不動尊前	0.11
	津島字水境地内	0.45
津 島	津島字仲野作地内	1.41
	津島字谷津地内	0.54
	津島字町前地内	0.41
	浪江町役場旧津島支所	0.51
	赤字木字梶平地内	1.50
	昼曽根字尺石地内	1.80

* 測定日は7月1日(火)です。

自家消費食品などの放射能簡易分析結果

☎ 健康保険課放射線対策係
TEL 0240 (34) 0261

町は、自家消費食品などの安全・安心のため、食品中の放射能を測る機器を配備し、放射性物質の測定を行っています。

■ 6月の分析結果 (町内で採取された検体を掲載)

全ての検体		基準値以上検出された検体		
区 分	検体数	品 名	基準値を超えた検体数	最大値 (Bq/kg) *
野 菜	8			
果 実	11			
魚	0			
山菜、キノコ類	3	タケノコ	2	134.4
その他	1			
水(井戸水・湧水など)	0			
合 計	23		2	

* 基準値を超えた検体数が複数の場合は、数値の一番高いものを記載しています。

食品衛生法における基準値
(セシウム134、セシウム137の合算値)

- 一般食品…………… 100 Bq/kg
- 飲料水…………… 10 Bq/kg
- 牛乳、乳幼児用食品… 50 Bq/kg

※ 検出下限値25Bq/kgを超える検体の掲載は除いています。

正確な測定をするために、食品であれば500グラム以上、水であれば2リットル程度必要です。

※ 帰還困難区域以外のものを受付しています。
自家消費食品などの簡易測定は、浪江町役場本庁舎および津島支所で随時受付しています。
検査受付は原則平日のみにとなります。

※ 採取地など詳しくは、ホームページをご覧ください。

ここから下は広告です。



わたしたちのまち

(令和7年6月末現在)

人	口	14,353人
男		7,115人
女		7,238人
世帯数		6,535世帯

問 住民課住民係 TEL 0240(34)0230

居住人口	2,366人
居住世帯数	1,523世帯

問 総務課防災安全係 TEL 0240(34)0229

お誕生

出生届は14日以内に

こどもの名 性別 親の名 住 所

5月

金 澤 牙 来 男 性 請 戸	
藤 田 汐 音 女 知宏・まゆみ 加 倉	

6月

石 森 楓 七 女 克美・さゆり 苅 宿	
大 高 響 葵 女 充・恵理 幾 世 橋	

お悔やみ

死亡届は7日以内に

氏 名 年齢 住 所

5月

大和田 美恵子 77歳 下 津 島	
菅 野 カツヨ 82歳 赤 宇 木	
前 田 信 男 86歳 酒 田	

6月

門 馬 慧 子 89歳 権 現 堂	
蕪 木 暁 84歳 井 手	
渡 邊 重 隆 93歳 加 倉	
伊 藤 俊 治 69歳 権 現 堂	
金 山 昭 八 92歳 請 戸	
岩 野 克 彦 60歳 権 現 堂	

お誕生・お悔やみ欄は、ご家族に確認が
取れた人を掲載しています。

問 企画財政課情報統計係
TEL 0240(34)0241



浪江診療所のお医者さん

問 浪江診療所 TEL 0240(23)6173

■診療受付 8時30分～11時30分 13時30分～15時30分
※整形外科 午後のみ12時45分～14時

■場 所 浪江町役場北西側

■診療体制

本田医師(常勤)……………月～金曜日
山田医師(内科)……………8月4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)
宗像医師(内科)……………8月8日(金)・29日(金)
小早川医師(内科)……………8月13日(水)・27日(水)(午前のみ)
先崎医師(小児科)……………8月5日(火)
中川医師(小児科)……………8月22日(金)
上原医師(整形外科)………8月7日(木)・14日(木)・21日(木)・28日(木)
※祝日を除く・都合により変更あり

※風邪の諸症状がある場合は、来所前に必ず電話連絡をお願いします。



仮設津島診療所のお医者さん

問 仮設津島診療所 TEL 0243(24)1431

■診療受付 8時30分～11時30分 13時30分～15時30分

■場 所 二本松市油井字大窪118番地

■診療体制

西医師(内科)……………毎週水曜日・8月1日(金)・22日(金)
29日(金)
今村医師(婦人科・内科)…毎週月曜日・8月21日(木)
木村医師(皮膚科・内科)…8月19日(火)
宗像医師(内科)……………8月7日(木)・28日(木)
小早川医師(内科)……………8月5日(火)・8日(金)・26日(火)
※祝日を除く・都合により変更あり
※8月12日(火)・14日(木)・15日(金) 休診

※風邪の諸症状がある場合は、来所前に必ず電話連絡をお願いします。

震災時町民の居住状況 (6月30日現在)

都道府県	人数	対5/31	都道府県	人数	対5/31
北海道	54	-1	滋賀県	8	0
青森県	40	0	京都府	32	0
岩手県	31	0	大阪府	68	0
宮城県	899	-4	兵庫県	21	0
秋田県	32	0	奈良県	5	0
山形県	104	0	和歌山県	0	0
福島県	12,959	-27	鳥取県	1	0
茨城県	918	-1	島根県	5	0
栃木県	441	1	岡山県	24	0
群馬県	129	0	広島県	8	0
埼玉県	634	0	山口県	1	0
千葉県	548	6	徳島県	1	0
東京都	832	3	香川県	4	0
神奈川県	409	0	愛媛県	6	0
新潟県	265	0	高知県	4	0
富山県	15	0	福岡県	20	0
石川県	19	0	佐賀県	4	0
福井県	6	-1	長崎県	12	0
山梨県	32	0	熊本県	6	0
長野県	52	0	大分県	5	0
岐阜県	17	0	宮崎県	10	0
静岡県	62	0	鹿児島県	8	0
愛知県	37	1	沖縄県	21	0
三重県	7	0	国 外	12	0

ナンバーワンになって 町の魅力を発信！

投票
開始

8月1日(金)

投票
終了

9月27日(土)



投票
方法

インターネットから

「1日1票」投票をお願いします！

2020年に幕を閉じた「ゆるキャラ®グランプリ」が、形を変えて復活しました！

今回開催される「ゆるバス」でも、投票数によって、キャラクターの順位が変わっていきます。

「うけどん」は、町のイメージアップのため、様々なイベントに登場したり、町の魅力を届けるため、積極的な情報発信を行っています。ぜひ、応援よろしくお願いします！



出張！撮れたて写真館

第28回



うけどんのぼっぱ うけどん

6月のうんといいした！



スカイさん (6月22日投稿)

何羽いるのか？雛ツバメが巣に収まりきれないほど大きくなっているようです。親鳥は餌を頻繁に与え近くで見守っています。微笑ましい姿を見ると自然に笑顔になります😊

チラッと見える目元は親鳥ソックリ😊

元気に飛び立っていくのを見守りたいと思います。そして又幸せを運んで来てね～😊

スカイさん (6月30日投稿)

ツバメさん全4羽無事巣立って行きました😊
大きくなりました。親鳥さんお疲れ様！
嬉しくもあり寂しいなあ😞なんて思っていたら群れの仲間を連れてご挨拶に来てくれました😊
飛びかたもだいぶ上手になって仲間に誇らしげに自分の巣を見せているようでした😊
巣はこのままにしておくからね。



※6月1日～6月30日のうち、「なみえ新聞」の「みんなで投稿！撮れたて写真館」に投稿された写真の中で、1番多く「いいした！」ボタンが押された投稿です。